

アサダ

Ostrya japonica Sarg.
カバノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で知られている生育地は数地区で、個体数も少ない。全国的にも少ない種類である。

分 布

北海道～九州に分布。県内では嶺北と丹南にわずかに分布する。

種の特徴

山地の湿った場所に生える落葉高木。高さ 25m になる。樹皮は縦に裂け、反り返る。葉は互生し、狭卵形、長さ 7～13 cm、重鋸歯がある。花期は 4～5 月。展葉と同時に開花し、雄花序は長さ 5～6 cm。果穂は長さ 5～6 cm。果実は長さ約 1.5 cm の苞に包まれる。

生育を脅かす要因

森林伐採、産地局限、土地造成。

参考文献 茂木透他 (2000a)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○		○		○		○			○				○	

イワウメヅル

Celastrus flagellaris Rupr.
ニシキギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は数地区で、個体数も少ない。

分 布

本州（中部以西）～九州に分布。池田町、大野市、福井市で採集記録がある。

種の特徴

森林の林縁に生える落葉のつる植物。気根で樹幹や岩を這い上がる。葉は互生し、卵円形、長さ 3～7 cm、細かい鋸歯がある。花期は 5～6 月。雌雄異株。花序は葉腋につき、花は黄緑色、花弁 5 個。果実は 3 裂し、仮種皮は橙赤色。

生育を脅かす要因

森林伐採、土地造成、産地局限。

参考文献 茂木透他 (2000b)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	○

ウメバチソウ（狭義のエゾウメバチソウを含む）

Parnassia palustris L. var. *palustris*
ニシキギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地は限られ、個体数も少ない上に、園芸採取の対象になりやすい。

分 布

北海道～九州に分布。嶺北、及び嶺南に数箇所分布している。

種の特徴

日当たりのよい湿地に生える多年生草本。根生葉は長柄があり、葉身は広卵形、長さ 2～4 cm。花期は 8～10 月。高さ 10～40 cm の花茎の先に、直径 2～2.5 cm の白花をつける。花弁は 5 個。雄しべは 5 個、先端に黄色い腺体がつく。

生育を脅かす要因

園芸採取、湿地開発。

参考文献 門田裕一ほか (2013)、福井県植物研究会 (1998)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○					○				○	○	